

宮古商高男女がV 少年・国際 420級

セーリング

全日本選手権など

2016年岩手国体のリハーサル大会を兼ねた高松宮妃記念杯第61回全日本実業団ヨット選手権大会、第17回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会、全日本セーリング選手権大会の3大会の最終日は12日、宮古市のリアスハーバー宮古沖で行われ、県勢は全日本セーリング選手権国際420級で少年男子の加藤卓、向口瑠瑠組と少年女子の佐々木香波、前川優香組(いずれも県連盟、宮古商高2年)が優勝した。

同種目の男子は佐香将太、長沢慶組(宮古商高2年)が準優勝、中嶋俊、鷹嶺(県連盟)が3位入賞を果たした。

入賞。女子は田中真琴(同1年)、小笠原彩乃組(同2年)が準優勝した。全日本セーリングスピリッツ級選手権は高屋敷七恵、伊藤詩子組(県連盟)が準優勝。全日本セーリング選手権レーザ級(成年男子)の菅原鷹嶺(県連盟)が3位入賞を果たした。

【最終成績】
「全日本実業団選手権」
▽国際470級 ①エス・ピー・ネットワーク5点②豊田自動車6点③日立製作所18点
▽国際スナイプ級 ①三菱重工広島39点②エス・ピー・ネットワイク44点③アイン・エアィ57点
「全日本スピリッツ級選手権」
▽レーザ級 ①谷口斎謙(和歌山県連盟)3点②佐藤(山形)9点③菅原鷹嶺(岩手県連盟)13点
▽国際420級 ①加藤卓・向口瑠瑠(岩手県連盟)4点②佐香将太・長沢慶(岩手県連盟)7点③中嶋俊・佐々木香波(岩手県連盟)12点
▽少年男子▽レーザ級 ①池田樹理(東京都連盟)4点②小成海舞(岩手県連盟)19点③平尾(室蘭協会)28点
▽5レースは中止。第4レースまでの成績による) 58点

▽国際420級 ①佐々木香波・前川優香(岩手県連盟)22点②田中真琴・小笠原彩乃(岩手県連盟)45点③朽木・塚田(東京都連盟)58点

▽国際420級 ①佐々木香波・前川優香(岩手県連盟)22点②田中真琴・小笠原彩乃(岩手県連盟)45点③朽木・塚田(東京都連盟)60点④佐々木祐哉・伊藤澤史(県連盟)64点

▽少年女子▽国際420級 ①阿部佳苗(北海道連盟)19点②手代木(北海道連盟)24点
▽5レースは中止。第4レースまでの成績による) 20点

▽少年男子▽レーザ級 ①豊島以知朗(広島県)②インギークラブ/大島商船高等専門学校 4点③宮田(群馬県連盟)9点④猪狩(山形県連盟)18点
▽5レースは中止。第4レースまでの成績による) 20点

▽国際420級 ①加藤卓・向口瑠瑠(岩手県連盟)4点②佐香将太・長沢慶(岩手県連盟)7点③中嶋俊・佐々木香波(岩手県連盟)12点

▽少年男子▽レーザ級 ①池田樹理(東京都連盟)4点②小成海舞(岩手県連盟)19点③平尾(室蘭協会)28点
▽5レースは中止。第4レースまでの成績による) 58点

▽国際420級 ①佐々木香波・前川優香(岩手県連盟)22点②田中真琴・小笠原彩乃(岩手県連盟)45点③朽木・塚田(東京都連盟)60点④佐々木祐哉・伊藤澤史(県連盟)64点



全日本選手権国際420級少年男子 5レース中4レースをトップで制し、優勝した向口瑠瑠(右)、加藤卓組(宮古市・リアスハーバー宮古沖)

国際420級少年女子 落ち着いたレース運びで優勝を果たした前川優香(左)、佐々木香波組

国際420級少年は暫定1位で最終レースを迎えた男子の加藤卓、向口瑠瑠組、女子の佐々木香波、前川優香組(いずれも宮古商高2年)が安定の走りでも首位を守り、表彰台で晴れやかな笑みを見せた。

加藤、向口は5レース中4レースを1位で制し、圧勝。3位となった前日の第4レースから気を引き締め、「1位を取れて良かった」とほっとした様子を見せた。不安定な風の中でも、後ろに付いた2位の佐香将太、長沢慶組(宮古商高2年)のコースを抑え、先頭を譲らなかった。

先月の和歌山国体で見えたスタートや戦術面の課題も「スタートは失敗なく出る」ことができたし、周りを見る余裕もあった(向口)と自己評価。「ミーティングを重ね、良いコースが取れるようにしたい」(加藤)と今後も戦術面の強化を図り、「来年の国体は今回と規模が違うが優勝を目指したい」と口をそろえた。

宮古商高 安定のレース運び

女子の佐々木、前川組は「落ち着いて目標は達成できた」とする一方、「課題も残った」と冷静に結果を見詰めた。2人で考えたコース通りに進めたが、スタートや、強弱のある風の中でバランスを取ることには苦心した。

佐々木は「技術はまだまだ。国体までに向上し、精神面でももっと強くなりたい」と話し、前川も「知識や技術をもっと勉強しないと」と前を見据えた。(石田)

先月の和歌山国体以来のぶっつけ本番で今大会に挑み、「レースを進めながら互いの感覚を戻すことができた」と振り返る。前日は第1、4レースを1日で行う強行日程で体力勝負となったが、息を合わせ3位につけた。最終レースは得意の弱風で1位を取り、最終順位を上げた。

高屋敷は国体の同級で

14年連続出場した功績をたたえられ、閉会式でセーリングスピリッツ協会から表彰も受けた。高屋敷は「続けていて良かった」と笑みをこぼし、「岩手国体で表彰台を目指したい」と誓った。

国際スナイプ級・安藤義宗(三菱重工広島)は海面が狭く感じしたが、海もきれいで良い所だった。15年ぶりにチーム優勝を果たすことができ、うれしく思う。11月の全日本選手権や、来年のいわて国体でも優勝を目指したい。



宮古商高 高屋敷 高屋敷は「続けていて良かった」と笑みをこぼし、「岩手国体で表彰台を目指したい」と誓った。

国際スナイプ級・安藤義宗(三菱重工広島)は海面が狭く感じしたが、海もきれいで良い所だった。15年ぶりにチーム優勝を果たすことができ、うれしく思う。11月の全日本選手権や、来年のいわて国体でも優勝を目指したい。